

どうする？どうなる？
和泉の教育（学習会）
10月26日(日)13:30～
和泉ミセ2階小運動室

泉北教育

NO.1980 2014.9.30.
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

やっぱり直営給食

広島豪雨災害 給食調理員 避難所で炊き出し



さまざまな災害がいま日本を襲っています。自校直営給食であれば、災害発生時に調理員は炊き出しを含め被災者支援行動にできることが出来ます。しかし、これが民間委託の場合は、市は委託業者に協力の要請はできてもどれだけの対応をするかは業者まかせです。

広島市の豪雨災害では、広島市の学校給食の直営調理員は、いつも数百から一千食ほど作っているのに、慣れたものと8月23日の夕食で豚汁700食分、24日の昼食でカレーライス800食分の炊き出しを行い、被災者のみなさんに大変喜ばれました。

▲被災者にカレーライスをふるまう学校給食調理員 = 8月24日広島市梅林小学校にて
「朝日新聞digital」より

宇治市2年前水害時 被災者に給食弁当

直営給食の役割発揮

民間委託拡大やめる

宇治市は、2000年から学校給食の民間委託を導入し2012年の時点で直営6校、委託14校になっていましたが、同年9月、民間委託校をこれ以上拡大しないことを決めました。

同年8月の宇治市での大水害において、市教委の要請を受け、直営給食調理員がただちに弁当給食330食分を被災地に届け、被災者の方から大変喜ばれたことがこの決定の大きな契機になっています。宇治市教委は民間委託校をこれ以上拡大しないことを決めた9月の教育委員会会議で「東日本大震災を経て、学校給食室や家庭科室は避難場所の炊き出しに利用できるよう整備する必要がある」と提言され、給食室に備えられている大型機器

を扱うには専門である市調理職員の知識・技術が必要である。」（2012年9月6日宇治市教育委員会臨時会会議録より）として、直営給食の災害時において果たす役割を高く評価しました。

直営校の役割として、上記の災害時の対応以外に「長年の経験に基づく専門知識を生かした豊かな献立の作成、調理技術の向上、安全衛生マニュアルの改善を行い今後も引き続き本市としての学校給食調理業務の基準を示すこと、食物アレルギーを有する児童に対しアレルゲン混入を避けるための直営校の調理技術・衛生管理能力に基づく除去食調理の基準づくり等である。」（同会議録より）こともあげています。

「集団的自衛権」の行使反対。教え子を再び戦場に送るな。